

『レクティオ・ディヴィナで味わう主日の福音・B 年』 刊行にあたって

カトリック長崎大司教 高見三明

レクティオ・ディヴィナ（ラテン語：lectio divina）は多くの方々には聞きなれない言葉だと思いますが、西欧の修道院の伝統の中で典礼、聖務日課、労働とともに、神を探し神と出会う最も特徴的な手段の一つで、今なお重要視されているものです。聖書すなわち「神のことば」の“lectio”（「朗読」）を基本にしているため、“divina”（「神聖な」）という形容詞がつけられていますが、「読む」だけでなく、「黙想（咀嚼・反芻）し」、「祈り」、「観想する」という一連の行為全体を指す表現です。「朗読（lectio）は幸いな生活を探す、黙想（meditatio）はそれを見つけ、祈り（oratio）はそれを願い、観想（contemplatio）はそれを味わう」という説明もあります。2008年10月バチカンで開催された世界代表司教会議（シノドス）のためにレクティオ・ディヴィナの実践を促進する本書が出版されましたが、その邦訳が刊行されることは大変意義深く、その労をとってくださった日本聖書協会の方々に心から感謝申し上げます。

この朗読はユダヤ教会堂の典礼にさかのぼります。会堂では安息日毎に賛美と礼拝と嘆願の祈りの雰囲気の中で律法と預言書が読まれ、会衆はそれを神のことばとして聞き、説教を聞きながら、共同体による黙想をし、生活へとつなげてきました。

教会では、オリゲネス（184/5-253/4）が最初の提唱者で、彼の影響はさまざまな仲介を通して砂漠そして修道院の囲いの中へと及びました。ヒエロニモやアウグスティヌスなどは、信者たちにもこの聖書の朗読を強く勧めました。しかし、これが定着したのは、西欧の共住修道会の創始者ベネディクト（480頃-547頃）のおかげです。彼は会則48章で、修道者は一日を手の労働と“lectio divina”から成るようにすべきである、と決めました。“lectio divina”とは、各自聖書を音読し、そこから瞑想と祈りへと入っていくことです。そのために2～3時間当てました。もちろん彼は聖書の研究も同じように重視しました。

種々の托鉢修道会が設立され、信心業が盛んになった12世紀を境に、修道者が専有していたこの聖書の朗読は、他の霊的書物や聖人伝などを読む「霊的読書」と重なり合います。しかし、霊的読書にしても現在に至るまで一貫して、聖書の朗読が首位を保っています。

第二バチカン公会議（1962-65）は、伝統的な表現を用いながら、聖職者や修道者はもちろんすべての信者に、聖書を絶えず熱心に読み黙想し（“assidua lectio sacra”）学ぶこと、「聖書を読むにあたっては、神と人間との会話ができるように、それに祈りを加える」ことを勧めています。司祭は、「聖書の朗読（“lectio divina”）によって養われた信仰の光りのもとに、神の意志のしるしと神の恵みの勧めとを、生活のさまざまなできごとの中に注意深く探ることができる。」² 教皇ベネディクト十六世も就任以来たびたびこの朗読を推奨しています。結局、聖書を読み黙想し祈ることは、すべてのキリスト者の生活の一部となることが望ましいということです。問題は、それをどう実践するか、にあります。近年方々で「聖書100週間」や「セブンステップ」といったさまざまな形の聖書の分かち合いが行われ、それによって生活が変えられたという体験が報告されています。ありがたいことに、本書は、個人とグループ双方のための手引きとなっています。この普及とともにレクティオ・ディヴィナが広く実践され、さらに一人でも多くの方が、聖霊の働きによってみことばをじっくり読み、祈り、

1 『神の啓示に関する憲章』25番。『信徒使徒職に関する教令』4番；『修道生活の刷新・適応に関する教令』6番；『司祭の養成に関する教令』16番参照。

2 『司祭の生活と役務に関する教令』18番。同19番参照。

3 『霊的講話集2005』（ペトロ文庫005）カトリック中央協議会、2007年、130-131頁、『第21回「世界青年の日」教皇ベネディクトメッセージ』ドン・ボスコ社、2007年ほか。

分かち合い、そして生活を変えられていくよう期待し祈らずにはられません。

【参考文献】

1. J. Rouse, H.J. Sieben, A. Boland, “LECTIO DIVINA ET LECTURE SPIRITUELLE”, in: Dictionnaire de la Spiritualité, t. IX, Paris, 1976, cols.470-510.
2. Ph. Rouillard, O.S.B., 《LECTIO DIVINA》, in: Catholicisme, t.7, Paris, 1975, cols. 170-171.
3. エンゾ・ビアンキ 『みことばを祈る—聖なる読書の手引き—』 オリエンス宗教研究所、1995 年。
4. 『目からウロコ聖書の読み方—レクチ・デイヴィナ入門』 女子パウロ会、2007 年。